

山梨県スポーツ指導者協議会

会報

第十九号

平成21年
3月31日
発刊

「信頼され、求められる 指導者を目指して」



会長 松野 傳

指導者として最も大切なことは、指導する相手から信頼されることである。指導の効果は、指導者の信頼度に比例するようにも思われる。

信頼される指導者の条件としては、①指導内容に精通している。②明瞭で分かりやすく、説明だけでなく、実技を伴う指導もする。③相手に積極的な関心を示し、僅かな進歩でも認めて、声を掛けてやる。等のことが考えられる。ある有名な指揮官が、部下に対する指

導の方針として心がけていたといわれる「やって見せ、言って聞かせてさせてみせ、褒めてやらねば人は動かじ」という言葉が重く感じられる。

そして、求められる指導者としては、信頼される指導者の条件を満たすだけでなく、更に①誠実な人間性。②ニーズに応じた指導。③継続的資質の向上、等を備えることが必要であるといわれている。その中でも最近は特に、「人間としての信望」が求められているよ

うに思われる。しかし、「実力のある指導者が、必ずしも求められる指導者であるとは限らない」ということは、以前からたびたび耳にしていることでもある。

平成二十年度第一回全国スポーツ指導者 連絡会議・関東ブロック会議報告

副会長 若尾重廣

標記会議の目的は「指導者の連携と資質・指導力の向上・指導活動の促進方策等について協議すること」

にあり際限のない課題でもあるといえる。

六月二十六～二十七日の両日各都県の代表者六十三名の参加により東京で開催された。一日目、全体会議 I (1) 全国幹事会報告 (2) 財日

体協平成二十年度事業計画の説明、全体会議 II 各都県

ラブ (DVD) (2) ワークシ
ヨップ (前日) のまとめを
各班報告・質疑応答。昨年
度山梨開催時に初めて導入
した協議形式。それまでは
連絡協議、伝達講習会的な
ものであり日体協・都県代
表者が説明するのみであつ
た。参加者が共通テーマに
ついて自由に意見を述べあ
い情報交換することこそブ
ロック会議の趣旨・目的に
叶うことと思える。この形
式の導入を切っ掛けにブロ
ック会議をより有意義なも
のとするべく、都県の代表
者によるブロック会議活性
化推進会議も開かれ (既に
六回) よりよい方策を模索
中である。字数に制約ある
報告のため会議の流れを記
したのみである。

内容については、会議資料、会議録にまとめてあるので大いに活用戴きたいものである。

二日目は全体会議 III (1) 東京の総合型地域スポーツク

指導者間連携について

南都留支部長 勝 俣 進

二市二町五村のスポーツ指導者は約一五〇名の会員から構成されている。

本来のスポーツ指導であるスキル・メンタル指導と普及活動は勿論であるが、市町村体育協会や教育委員会の体育・スポーツ諸行事にも企画・アドバイス・指導者として住民の健康増進にも協力している。

さて、私たちは、現在スポーツ少年団やスポーツク



親子体操体験会

の試みとして、小中体連富

「指導者間連携や一貫指導のありかた」が常に話題があがってきている。

これらのごことを考えると、いかに指導者が指導目標、教育目標を掲げ、より年齢や個人の資質に合う指導を行うかが重要なポイントとなっている。

含)の増加等、それに伴う傷害も多く見られる。

ポーツの専門性の低年齢化、限られたスポーツのみ

部活動にそれぞれ所属している幼児・児童・生徒の指導をおこなっているが、ス

そこで本支部として、初

「指導者間連携や一貫指導のありかた」が常に話題があがってきている。

これらのごことを考えると、いかに指導者が指導目標、教育目標を掲げ、より年齢や個人の資質に合う指導を行うかが重要なポイントとなっている。

含)の増加等、それに伴う傷害も多く見られる。

ポーツの専門性の低年齢化、限られたスポーツのみ

部活動にそれぞれ所属している幼児・児童・生徒の指導をおこなっているが、ス

士吉田支部、南都留支部、都留支部の支部長、理事長や高体連の先生方、市町村教育委員会担当者の協力を

これを機会にさらに意見交換をすすめる指導の一貫性と年代に応じた指導のあり

これを機会にさらに意見交換をすすめる指導の一貫性と年代に応じた指導のあり

これを機会にさらに意見交換をすすめる指導の一貫性と年代に応じた指導のあり

これを機会にさらに意見交換をすすめる指導の一貫性と年代に応じた指導のあり

これを機会にさらに意見交換をすすめる指導の一貫性と年代に応じた指導のあり

これを機会にさらに意見交換をすすめる指導の一貫性と年代に応じた指導のあり

これを機会にさらに意見交換をすすめる指導の一貫性と年代に応じた指導のあり



小学生卓球教室

多くの課題を抱えつつも指導者間の情報交換や会議の機会を得つつ適正な指導者協議会の運営を組織的に図っていく。

多くの課題を抱えつつも指導者間の情報交換や会議の機会を得つつ適正な指導者協議会の運営を組織的に図っていく。

多くの課題を抱えつつも指導者間の情報交換や会議の機会を得つつ適正な指導者協議会の運営を組織的に図っていく。

多くの課題を抱えつつも指導者間の情報交換や会議の機会を得つつ適正な指導者協議会の運営を組織的に図っていく。

多くの課題を抱えつつも指導者間の情報交換や会議の機会を得つつ適正な指導者協議会の運営を組織的に図っていく。

多くの課題を抱えつつも指導者間の情報交換や会議の機会を得つつ適正な指導者協議会の運営を組織的に図っていく。

多くの課題を抱えつつも指導者間の情報交換や会議の機会を得つつ適正な指導者協議会の運営を組織的に図っていく。

『峡南支部』スタートしました

峡南支部長 望 月 喜 彦

準備

- ・両支部（西八・南巨）の会則のすり合わせ
- ・役員案の出し合い（支部長・副支部長・理事・監事・事務局長など）
- ・理事会などの会場について（位置、会場費など）

スタート

- 二十年度総会（二十年六月二十一日、七時半から、於中富総合会館）
- ・支部会則、支部役員、事業、予算、その他承認
- ・来賓・助言者＝松野傳真会長、辻昌彦事務局

事業（二十年度総会以降）

八紘嶺登山

山梨百名山（十一月二日 午前八時～午後四時）

西八代支部で長く取り組んできたスポーツ教室。峡南支部でも、中心事業として

山梨と静岡の県境にそびえる八紘嶺へ。支部の山岳指導員、磯野・二宮ふたりの理事の指導のもと、二十三名の参加で天下の景観に浸った。

町教育委員会訪問

支部内、町教委教育長、スポーツ担当者への要望、説明など（二十年十二月～二十一年一月）

内容は、公認スポーツ指導者協議会峡南支部の全体の紹介、会員の状況、事業のこと、「総合型スポーツクラブ」設立も緒についてのこと、など。

快い感触と、行政の誠意を得ることができた。

第五十九回富士川駅伝

後援事業（二十一年二月八日）

この駅伝は、西八代縦断駅伝として出発、じつに五十九回の重い歴史をもつ。スタート地点において、また、走者の激励など、側面から参加した。

支部学習会（十二月十八日）

今年度初の事業。

峡南教育事務所、小林努体育主事を講師に、「体力低下の現状から考える地域スポーツ」について学んだ。

特に、児童生徒の課題をつかむことができた。

ウォーキング教室

「市川～甲府駅前まで」の約十六kmを半日かけて歩いた。

小林徳雄スポーツプロデューサーによる、「歩く」ことの意義、コースの設定など、また、磯野澄也山岳指導員から、盆地の山々の説明など。少し疲れたけど、達成感あふれたウォーキングだった。

新生「峡南」への、熱きアドバイスよろしくお願いたします。



約16kmを完歩 甲府駅前 満足感

山梨県スポーツ指導者協議会のホームページが開設されました!!

山梨県スポーツ指導者協議会のホームページを新設し、下記アドレスで公開しました。これにより、年1回の会報での情報提供だけでなく、研修会やスポーツ教室、各地域支部や理事会での活動を、皆さんにいつでも発信できるようになりました。是非、ご覧いただき、資格更新研修・自己研修など幅広くご活用下さい。

ホームページアドレス <http://yamanashi-sports.hp.infoseek.co.jp/>

公認スポーツ指導者表彰を受賞して



感 謝
 ～表彰をいただいて～

望 月 喜 彦

(ソフトテニス・指導員)

平成二十年十二月十三日、東京「グラウンドプリンスホテル赤坂」『五色の間』において、森喜朗日本体育協会会長から、表彰のお言葉と楯をいただいた。

その理由は「永年にわたり公認スポーツ指導者として、我が国のスポーツの普及振興のために著しい貢献をされた」ということである。

まことに、ありがたいことで、頭がさがる。(当日は、松野 傳俱会長もご参加。ご指示、ご援助をいただいた)

さて、四十年以上、ソフトテニスの指導と企画・運営をさせていただき、現在、むずかしいことは

- ・ 指導者の指導可能な時間と、指導を受ける青少年の希望時間との調整。

- ・ 中学校の先生も、異動により、必ずしもテニス専門でない方が配置されていること。

- ・ 地域によっては、生徒減少のため部員の確保が困難になっていくということ、など。

成果としては、中学校における部活動は、教科の学習と同じように重要視されていて、学校も保護者も熱をあげて取り組み、学校の充実感動の原動力となっていることである。

このたび表彰されたことを機に、地域社会のスポーツ振興にいつも寄与させていただきたい。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

村 松 敏 子

(J.S指導員・SP・AM)

スポーツ少年団の指導をして、二十六年、その間、体育指導員を十二年間勤め、地域の方々のスポーツへの関わりのお手伝いをさせて頂いた。

今、思う事は、スポーツは人づくりの基礎であるという事である。社会で求めている人材を、考えてみても、「身体的、精神的な体力を持ち、創造性豊かで、判断力に優れている人物」将に人づくりは、スポーツ活動の中で培われていくものだと思っている。

スポーツの持つ産物の大きさは、計り知れないものがある。

スポーツ少年団は、縦の繋がりの大切さ、気づきと思いやりの心を育て、団体活動の重要性を知る場であり、地域、親、指導者を含めた中で、学ぶ事の大きさを、改めて強く感じている。又、その子供達の育成に関わる事を嬉しく、誇りに思っている。

スポ少の認定員講習会も、カリキュラムが増え医科学、栄養学等、発育発達期にある子供の育成から、生涯スポーツまでを見据えた分野が要求されるようになった。

スポーツ環境の変わりゆく現在、ニーズに合った活動の展開に向け、更なる研鑽を積み、生涯スポーツの推進と、「地域の子供は地域の手で」を胸に、この地に少しでも多くの子供達が戻って来なくなる環境作りができたらと思っている。

最後に、受賞に際し、各関係機関、支えて下さった皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。

最後に、受賞に際し、各関係機関、支えて下さった皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。



「なぎなた」に育はぐまれて

鮎澤 房枝

(なぎなた・指導員)

この度、はからずも公認スポーツ指導者表彰の栄に浴し、これもひとえに県体育協会をはじめ、スポーツに携わる多くの関係各位の御指導、ご鞭撻の賜物と、心より御礼申し上げる次第である。

思えば「なぎなた」の道に私を誘い、草創期の連盟づくりに励まれた故西平梅子先生、先生のお導きによって、山梨県なぎなた連盟の基礎が築かれ、私共は互に励まし合い、助け合ってこれから進むべき道を確認することが出来たのである。

以後、かいじ国体への取り組みが始まり、優勝を目指して全身全霊を傾注して現在の連盟を造り上げた故上田俊一会長、私共は常に懸命に取り組む上田会長の言葉に励まされ、時には厳しく叱咤されながらその逞しい背中を目がけて歩み続けて来た。会長の偉大さは、今も私共の心に深く脈々と受け継がれている。

私どもはあらゆる機会をとらえて普及に努め、いち早くスポーツ少年団を立ち上げた下部町をはじめとして県内各地に活動の拠点作りを行い、互に交流しながら競技力の向上を図り活動の輪を広げる努力を続けている。

こうして育った会員の中からは、国体をはじめ諸大会に出場して輝かしい成果を収める者が居たりたのもしいかぎりである。

尚、県からの暖かいご配慮を頂く中でより優れた技術を修得する為に進んで関西方面に遠征し、各地で活躍する優れた競技者や指導者と交流して一層の向上を図る努力を続けている。

なぎなたに携わって三十年、県体協の皆様をはじめ多くの皆様にお育て頂いた私は、このご高恩に報いる為にも、老体に鞭打って残された人生を歩んでいきたいと心を新たにされた次第である。



井手 隆 俊

(スポーツドクター
山梨県体育協会スポーツ医・科学委員会委員)

平成二十年度公認スポーツ指導者表彰式・公認スポーツ指導者全国研修会

期 日：平成二十年十二月十三日（土）

会 場：グラランドプリンスホテル赤坂

内 容：

一、日本体育協会 森 喜朗会長 あいさつ

二、公認スポーツ指導者表彰式

三、特別講演

「人を動かす・組織を生かす志向の方向性」

栗山 英樹氏（白鷗大学・スポーツジャーナリスト）

四、講演

「世界で出会った指導者達」

山本 浩氏（日本放送協会解説委員室解説副委員長）

五、シンポジウム

「スポーツ指導者の資質（見直そう指導者のモラル）」

シンポジスト

山本 貴司氏（近畿大学）

平林 岳氏（米国野球マイナーリーグ審判員）

藤島 大氏（スポーツライター）

コーディネーター

山本 浩氏（日本放送協会解説委員室解説副委員長）



スポーツ選手の食事 栄養管理の大切さ難かしさ

甲府新井 美代子

○研修会への参加について、今回二回目です。選手を例にあげてのお話しが「食」と関係するというのがユニーク。

○栄養素についての勉強
三大栄養素（蛋白質、脂質、糖質（炭水化物））五大栄養素も考えられる（一、二、三、ビタミン、無機質）など。

○過食について考えたい、御飯を食べるといふことは、炭水化物の摂取になる。食べ物から取る栄養には、サッカーのポジションと同じように役割分担がある。

○朝食の大事さを考えた。朝食の欠食率は男女共、二十才代が最も多い、朝食は脳にエネルギーを補給し、睡眠中に下がっ



た体温を上昇させ、一日を気持ち良いスタートにさせることにつながる。

○今回の研修全体を通して、楽しい内容の研修会でした。選手を例にあげ具体的に話されたことは明日の「食」と結びついたものでした。一日三食しっかり食べましょう。



「いつその場面に 遭遇するか研修の深めを」

峡南土橋 亨

過日小瀬武道館で行われたスポーツ指導者研修会に参加した。

昨年と同じ研修を受けたが、心肺蘇生については若干変っていた。

スポーツと食生活については、バランスのとれた食生活がいかにスポーツを支えているか、日頃はあまり関心をもっていなかったが、そのかわりの深さを

知った。この認識に立ち、指導者として役に立つ説明ができればと考えている。

自動体外式除細動器（AED）を使った救命講習を受けた。テキストでの講習のあと一グループ二十五名くらいでダミー人形を使つての心臓マッサージや人工呼吸それにAEDの使用方法など実技を学んだ。講師の先生はさすがベテランで

①大きな声で呼ぶ、②協力者を求める、③呼吸の様子を自身の体でつかむ、④周囲の状況に気をくばる。救急車が来るまでのあいだ手際よく落ちついて対応することが肝心である、ことなどの指導であった。

これまでにも増して「いつその場面に遭遇するか」スポーツ現場はもとより、一般社会生活の中においても、適切な対応ができるよう、研修を深めお役に立ちたいと思った。



「栄養」は生命と健康の 維持向上に不可欠

峡中金丸 健

過日、山梨県スポーツ指導者研修会が開催され、山下真澄先生による「スポーツ選手の食事、栄養管理」という題で講演されました。

栄養素の体内での役割は、活動のエネルギー源、体組織の成長と補充、機能の維持・調節などが考えられる。このことから、「食事のだいじさ」を認識

させられます。三大栄養素（たんぱく質・脂質・炭水化物）にビタミン・無機質を加えた五大栄養素がトレーニングに対する食生活の視点から必要であることと体力向上に大切であることとを学びました。体力には、防衛体力と行動体力に大別され「ストレスに耐えて生命を維持していくからだの

防衛力と、積極的に仕事を
していくからだの行動力」
があります。体力が上げら
ば、筋繊維も太くなり、基
礎代謝量も増えてきます。

これらのことを考えます
と、食事と体力向上とはき
つてもきれない役割があ
り、運動だけしていれば体
力が上がることはなく、バ
ランスのよい食事、運動に
よって病気になるにくい体
づくり、すなわち予防医学
が出来ると思っています。

「愚公移山」

活動促進部会 部会長

岡 村 勝 幸

指導者の資質向上によ
り、県のスポーツ人口を増
大させ、若年層を初めとし
た底辺の拡大・競技力の底
上げは、我々有資格指導者
が今取り組むべき課題だと
思われます。

現状の支部活動の活性化
だけでなく、競技団体と
の連携強化を図り、五年

『あなたの会費が組織を支えています』

組織財源部 部会長 雨 宮 愛 子

平成二十年度において組
織財源部としては、各市町
村合併に伴い支部の再編成
を行い新たに八支部（笛
吹・峡北・峡中・峡南・甲
府・東山梨・南都留・北都
留）で活動を行うこととな
りました。

会員の皆様もご存知のこ
ととは思いますが、本協議
会は、県内におけるスポー
ツ指導者の資質向上と相互
連携を図り、県民スポーツ
の普及・発展を目的に、指
導者の組織的指導者の確
立、各種研修会・講習会の

開催、広報誌の発刊などの
活動を行っています。

日本体育協会公認スポー
ツ指導者の皆様には、本協
議会の会員になっていただ
いております。冒頭にも述
べたとおり本協議会の活動
を会員の皆様への情報提供
としての会報の送付や、更
新義務研修のための「スポ
ーツ指導者研修会」の案内

の送付などを行っておりま
す。

つきましては、是非、公
認スポーツ指導者の皆様に
は、本協議会の趣旨・活動
内容をご理解いただき、各
研修会への参加並びに、
「会費の納入」につきまし
てご協力いただきますよう
お願いいたします。

『あなたの会費が組織を支えています』

二十五人の部員が、それ
ぞれ自分の得意分野を活か
せる業務を選んでもらい、

く緊急性のあるもの。の二
点が挙げられます。

部員間の連携強化（報告・
連絡・相談・確認）を大切

スポーツ指導者協議会と
いう一つの組織の中だけの
議論ではありませんが、開か

にし、創意工夫しながら事
業推進の為、日々研究・研
修を重ね課題解決に取り組
んでいます。

れたスポーツ指導者協議会
を作るために、行政・体育
協会・競技団体・他スポー

課題解決について考えて
みると、①今後のスポーツ

協会・有資格指導者の新しい
一歩が踏み出していけるよ
うに全力で取り組んでいき
ます。

活動促進部会の担当業務
は、「指導者の資質向上」

と「指導者の活用」の推進
途中でも変えていき新たな
取り組みへと結びつけてい

です。

組織を公開し、評価を受

平成二十年度事業報告

期 日	会議の名称等	会 場 等
平成二十年 四月 十六日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第一回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
五月 十五日(木)	・平成十九年度 会計監査	小瀬スポーツ公園 管理棟会議室
五月二十四日(土)	・平成二十年度山梨県スポーツ 指導者協議会総会・研修会	小瀬スポーツ公園 武道館
六月 十八日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第二回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
六月二十六日(木) ～二十七日(金)	・平成二十年度第一回全国スポ ーツ指導者連絡会議・関東ブ ロック会議	東京都「グラント ヒル市ヶ谷」
十月 十五日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第三回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
十二月十二日(金)	・平成二十年度第二回全国スポ ーツ指導者連絡会議	東京都「日本体育 協会地下3階講堂」
十二月十三日(土)	・平成二十年度公認スポーツ指 導者等表彰・全国研修会	東京都「グラントブ リンスホテル赤坂」
平成二十一年 二月二十六日(木)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第四回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
三月三十一日(火)	・会報第十九号発刊	

平成二十一年度事業計画(案)

期 日	会議の名称等	会 場 等
平成二十一年 四月二十二日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第一回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
五月初旬	・平成二十年度 会計監査	小瀬スポーツ公園 管理棟会議室
五月二十三日(土)	・平成二十一年度山梨県スポ ーツ指導者協議会総会・研修会	小瀬スポーツ公園 武道館
六月 十七日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第二回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
六月二十六日(金) ～二十七日(土)	・平成二十一年度第一回全国ス ポーツ指導者連絡会議・関東 ブロック会議	埼玉県「さいたま 共済会館」
十月二十一日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第三回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
十二月十一日(金)	・平成二十一年度第二回全国ス ポーツ指導者連絡会議	東京都
十二月十二日(土)	・平成二十一年度公認スポーツ 指導者等表彰・全国研修会	東京都
平成二十二年 二月 十七日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第四回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
三月三十一日(火)	・会報第二十号発刊	

あ
と
が
き

「静」がこの会報、「動」
が新設のホームページ。
この二つの情報力で、
「県指協」へのご理解、
盛り上げをと考えており
ます。

即効ではありませんが
言葉の力と画像の力は、
ジワジワと「本協議会」
を力づけてくれると思い
ます。

編集：広報普及部

発行先

山梨県スポーツ指導者協議会
事務局

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840

(財)山梨県体育協会内

TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599